

窓口支援事例 【福岡県 知財総合支援窓口】

企業情報

広松久水産 株式会社

所在地	福岡県福岡市東区		
ホームページ URL	http://www.hiromatsu-kyu-fishery.co.jp/		
設立年	1965年	業種	フィッシング・レジャー事業 水産事業（原料販売） 冷凍倉庫事業 他
従業員数	130人	資本金	3000万円

企業概要

南極海において“オキアミ”は生態系全体に大きな影響を及ぼす重要なキーストーン種です。当社は、その重要な天然資源である“オキアミ”の日本唯一の総合メーカーであり、日々良い製品の安定供給と、質の高いサービスを提供することを目標に業務を行っています。

当社は“オキアミ”を通じて釣りエサだけではなく、穏やかな暮らしを作る企業として、創業50年来培ってきた当社独自の技術により、捕獲にはじまり冷凍・輸送・製造加工まで、徹底した品質管理で最良のものをお届けします。



自社の強み

当社の主要事業の一つであるフィッシング・レジャー事業では、釣り人がもつめるニーズに応えるよう製品開発に取り組んでいます。お客様の声や釣りに係る皆様からいただいた意見を大切にしながら、自然にやさしく、釣りがもっと楽しくなるような製品を日々、試行錯誤しています。



一押し商品

冷凍庫でも凍らない「不凍ツケエサ」の代名詞、「生イキくん」(商標登録第 4136645 号)は当社の人気シリーズです。この商品は、独自の南極トロール船で捕獲したオキアミの中でも、最高鮮度のものを厳選して加工した不凍タイプのツケエサです。使い勝手も良い便利な2分割できるツインパックを採用。様々な釣りのシーンで幅広く使えます。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は本格的に海外へのビジネス展開を検討している時期でした。中国等では商品パッケージの模倣や商標の冒認出願による被害が報じられていることから、日本国内での商標登録と、それを基にした海外出願を戦略的に企画・実行していく必要があると危機感を持たれ、相談にいられました。

最初の相談概要

必要な商標を抜けなく効果的に出願するためのしくみ作りを行いたい、というのが最初の相談でした。商品開発のプロセスに商標検討を入れるためには、商品企画段階から検討を始めること、またそれを社内規定に盛り込む必要があります。そこで知財（商標）戦略に詳しい弁理士を専門家として派遣し、同社の規模・組織の特性に合った商品企画規定と商品企画書を提案し、運用についてアドバイスをしました。

その後の相談概要

今後事業展開を予定している国々へ商標を出願するための戦略策定について、引き続き専門家（弁理士）を派遣して支援を行いました。中小企業等外国出願支援事業を利用することを提案し、さらに効果的・効率的な出願をするために他社の出願状況・出願戦略を調査して参考にするとともに、自社の品揃えとブランド体系を整理し、それらを基に商標外国出願の戦略を策定しました。

その後、同社は主要な3つの商標を3～6か国・地域に出願されました。

窓口を活用して変わったところ

これから生まれる新商品に前述の規定および企画書を適用していくこととなりますが、今回の活動を通じて商品戦略と知財戦略を連動させるという意識が高まったと感じます。

同社はこれまでにユニークな商品を数多く開発しています。知的財産に関する意識が高まった結果、商標だけでなく特許出願に対する意識も強くなったと思われます。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

商品・サービスの企画・開発と知的財産の保護・活用は事業を発展させるための両輪です。二つの輪を同時に確実に回すことは中小企業にとって大変なことですが、窓口担当者が専門家と連携して知的財産面での支援をしてくれるので負担を減らすことができます。ぜひご利用いただくことをお奨めします。

窓口担当者から一言（氏名：武内 洋介）



オキアミは大きな事業性を秘めた天然資源だと感じました。新しい事業あるいは商品を開発・改良する中で商標だけでなく特許やノウハウもたくさん生まれてくると感じられます。今後も微力ながら知財面でのお手伝いをさせていただければと思います。